

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和 5 年度 不登校・いじめ等対策推進事業における域別シンポジウム

- 日 時：令和 5 年 6 月 28 日（水） 13：15～16：15
- 会 場：南相馬市万葉ふれあいセンター（南相馬市鹿島区寺内字迎田 2 2）
- 参加者：小学校教諭 3 1 名、中学校教諭 1 8 名、義務教育学校教諭 3 名、合計 5 2 名
- 内 容：講 義「域内の生徒指導上の課題」
講 義「SSR の実践と今後の生徒指導の在り方」
演 習「児童生徒が安心して学べる環境の整備～子どもの“苦戦”をどう捉え、どう対応するか～」
講 話「学校と S C との連携による組織的な対応の在り方」
福島学院大学 講師（前 ふくしま心のケアセンター主任専門員） 佐藤 則行 様

【研修のまとめ】

児童生徒が抱える様々な課題や多様なニーズへの支援状況を把握することにより、多様で適切な学習活動の拡充が求められています。生徒指導主事が中心となり、情報共有の機会を工夫し、以下の点に留意して各学校における支援体制の充実を図りましょう。

- (1) 相双地区において、新規不登校児童生徒が増加傾向にあり、特に学年が上がるとともにその傾向が強くなる。不登校の主な要因として「無気力・不安」が最も多く挙げられているが、「どうして無気力にならざるを得ないのか」「不安を感じる理由は何なのか」等、児童生徒に寄り添った見取りが必要である。
- (2) 新規不登校児童生徒の発生を抑えるためにも、日常的な児童生徒の実態把握が大切である。令和 4 年 1 2 月に改訂された生徒指導提要、県教委作成の『ふくしまサポートガイド』の「安心して学べる環境の整備－特別な教室－」「安心して学べる環境の整備－三段階の心理教育的援助サービス－」等を参考にする。
- (3) S C、S S W 等との連携を図り、組織的な対応をすることで子どもや保護者を多面的・多角的にサポートすることができる。担当教員はその要として、関係者をつなぐ役割を担っている。

研修の感想

- 他校の事例や有効だった取組について情報交換ができた。従来の生徒指導的な視点だけでなく、S C や言語通級、S S W 等との連携を図っていくことの大切さを感じた。
- 「心の授業」プログラムがたいへん参考になった。これを本校でも実践してみたい。
- 予防的心理教育を学級での指導に取り入れていく手法についてくわしく知りたいと感じた。協議、講話等の内容の濃い研修なので、たくさんの先生方に参加して欲しいと感じた。

